

---

## プロフィール

---

### ●ジェラルール・プーレ (Gérard Poulet, 1938年 -)

フランスが誇る、世界的ヴァイオリニストにして、偉大な教育者。

11歳でパリ国立高等音楽院に入学、2年後に首席で卒業。18歳でパガニーニ国際コンクール優勝。フランチェスカッティ、メニューイン、ミルシュティン、とりわけ人生の師と仰ぐヘンリック・シェリング等の巨匠に師事。

世界各地でソリストとして活躍。これまでに、パリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、ストラスブール国立管弦楽団、リール、ボルドー、RAI・トリノオーケストラ、プラハラジオー交響楽団、リージュ・フィルハーモニック管弦楽団、北京交響楽団、シュツットガルト管弦楽団、読売交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック、仙台フィルハーモニック、大阪シンフォニカー等と共演。

86歳を越えた今も「現役」の演奏家としてコンサート活動を行っており、各国の主要な国際コンクール審査員(長)に招聘されている。

偉大な教育者でもあり、2003年長年教授を務めたパリ国立高等音楽院を退官後、パリ市立音楽院とエコール・ノルマル音楽院で教鞭を執り、東京芸術大学客員・招聘教授(2005年～2009年)を務め、2010年より現在は昭和音楽大学の教授を務める。多数の音楽大学(桐朋・国立・沖縄県芸・愛知県芸・フェリス・作陽・洗足など)にも招かれている。

コンクールの優勝・上位入賞者を多数輩出し、日本ヴァイオリン界のレヴェルアップにも、大きく貢献している。

日本をこよなく愛し、日本とフランスをほぼ半々に生活している。

2019年8月に日本国内でジェラルール・プーレ・ヴァイオリン・コンクールを開催し、楽器の貸与を実施しました。

1995年にフランス芸術文化勲章及び1999年に文化功労賞を受賞。2019年5月にフランス文化省から、フランス芸術文化勲章の最高位コマンドール(Commandeur de l'ordre des Arts et des Lettres)を叙勲。日本弦楽指導者協会・日本フォーレ協会 名誉会員。

#### ◆プーレ氏の言葉

「今が人生の最高。こんなに良い生徒たちを持ったのは生涯で初めて。多くの素晴らしい友人、同僚に恵まれ、日本にいる幸せを常に感じている。日本人の心(思いやり)、丁寧さ、規律の正しさ、日本の食事が大好き。」

### ●川島 余里 (かわしま より)

東京生れ。東京芸術大学附属高校及び同大学作曲科卒業、同大学院修了。H.ピュイグ=ロジェ氏の指導と影響を受け、演奏家になる志を立て1989年渡仏。パリ国立地方音楽院にてピアノ科とピアノ伴奏科のプルミエ・プリを取得。O.ギャルドン、G.ジョワ(デュティエユ夫人)に師事。

ソロ・室内楽奏者として幅広いレパートリーを持ち、オーケストラ共演も多数。ラジオフランスFM生放送でも演奏。

公式伴奏者として、パリ国立高等音楽院を始め、パリ市立音楽院、パリ区立音楽院(第1、第10、第16区)、パリ・エコール・ノルマル音楽院等、5校で同時に伴奏者として勤務する等の活動を経て、2005年帰国。国内外一流のソリストから伴奏を依頼されており、とりわけヴァイオリンの巨匠ジェラルール・プーレに最も信頼されるピアニストとなる。

東京芸術大学弦楽科及び附属高校で伴奏助手を務めた後、現在は、東京芸術大学と昭和音楽大学で、室内楽やソルフェージュの講師を務めている。日本フォーレ協会会員。当協会創立30周年を記念した、協会の8人の作曲家によるピアノ作品集「フォーレ讃」の中の一曲を作曲している(2020年5月に音楽之友社から出版された)。